

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物： 再生密粒度アスコン (20)

2024年 4月

倉吉アスコン株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

報告年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

報告者 田子三由生

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
5号砕石	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
6号砕石	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
7号砕石	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
再生骨材 13-0	倉吉アスコン	倉吉市馬場町	アスファルトカケラ
ストレートアスファルト 80~100	ENEOS ㈱	岡山県倉敷市水島	ストアス80~100
RJ-1	三徳アスリード㈱		再生用添加剤

2. 使用骨材の配合割合

材料	5号砕石	6号砕石	7号砕石	砕砂	再生骨材 13-0										計
配合割合%	12.0	2.0	2.0	14.0	70.0										100.0

3. 合成粒度

ふるい目	53 mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 μm	300	150	75
通過質量百分率%				100.0	99.4	88.1		62.4	43.3		28.2	18.5	9.7	7.1
粒度範囲	上限			100	100	90		65	50		30	21	16	8
	下限			100	95	75		45	35		18	10	6	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm ³)	理論密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー ($\frac{1}{100}$ cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.5	2.388	2.488	4.0	75.8	8.82	34	89.3
基準値	上限	—	—	6	85	—	40	—
	下限	—	—	3	70	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	5号砕石	6号砕石	7号砕石	砕砂	再生骨材 13-0				
通過質量百分率%	53 mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5	100.0								
	19	95.2	100.0			100.0				
	13.2	5.5	96.5	100.0		99.3				
	9.5									
	4.75	0.5	6.7	97.2	100.0	66.1				
	2.36		1.2	11.1	93.5	42.8				
	1.18									
	600 μm			1.1	32.8	33.7				
	300				17.2	23.0				
	150				10.1	11.9				
	75				6.0	9.0				

性状試験

試験項目		5号砕石	6号砕石	7号砕石	砕砂	再生骨材 13-0				
密度	表乾	2.687	2.674	2.654	2.661	—				
	かさ	2.668	2.649	2.615	2.627	—				
	見掛	2.720	2.718	2.721	2.723	—				
吸水率 / 水分量 %		0.72	0.95	1.48	1.30	—				
すりへり減量 %		—	12.3	—	—	—				
安定性 %		1.1	1.4	1.5	2.7	—				
微粒分量試験 %		—	—	—	—	1.2				
軟石含有量 %		0.4	0.5	—	—	—				
扁平細長石片 %		1.6	2.4	—	—	—				
単位容積質量		1.581	1.558	1.497	1.689	—				
粘土塊量 %		0.01	0.02	—	—	—				
最大密度		—	—	—	—	2.511				
旧 A s 含有量 %		—	—	—	—	4.87				
旧 A s 針入度		—	—	—	—	—				
圧裂係数		—	—	—	—	1.10				

骨材の粒径加積曲線図

目的配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

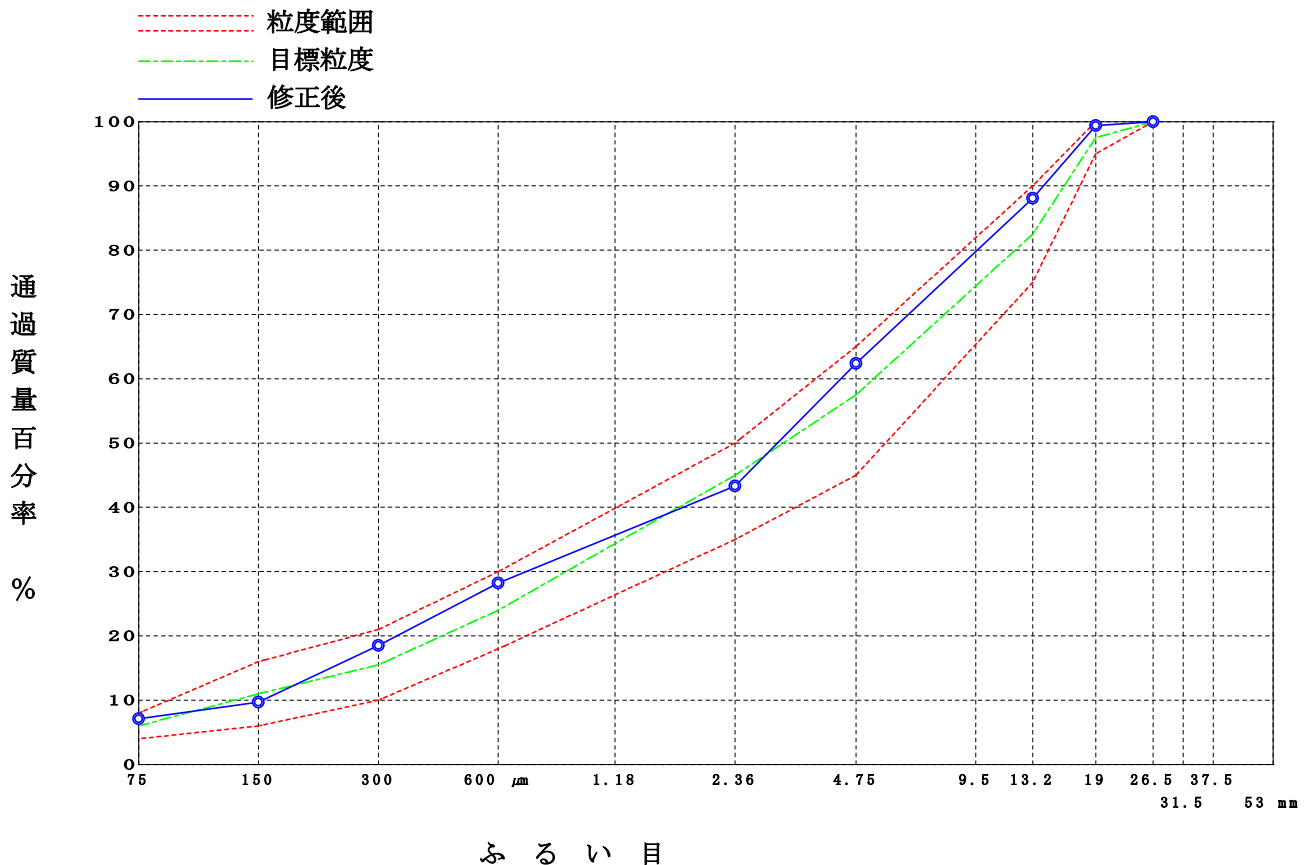
混合物の種類 再生密粒度アスコン(20)

試験者 田子三由生

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5	100.0	100.0	100.0	100
19	99.1	99.4	97.5	95 ~ 100
13.2	82.2	88.1	82.5	75 ~ 90
9.5				
4.75	57.9	62.4	57.5	45 ~ 65
2.36	39.2	43.3	45.0	35 ~ 50
1.18				
600 μm	16.7	28.2	24.0	18 ~ 30
300	9.6	18.5	15.5	10 ~ 21
150	5.3	9.7	11.0	6 ~ 16
75	3.5	7.1	6.0	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図



設計圧裂係数への調整（添加剤量）

目的 配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン（20）

試験者 田子三由生

試験項目	材料名	再生骨材 13-0			規格値
通過質量百分率 %	53 mm				
	37.5				
	31.5				
	26.5				
	19	100.0			
	13.2	99.3			
	9.5				
	4.75	66.1			
	2.36	42.8			
	1.18				
	600 μm	33.7			
	300	23.0			
	150	11.9			
75	9.0				
旧アスファルト含有率 %		4.87			3.8 以上
圧裂係数 MPa/mm		1.10			1.70 以下
微粒分量試験による損失量 %		1.2			5 以下
最大密度		2.511			

再生添加剤の性状

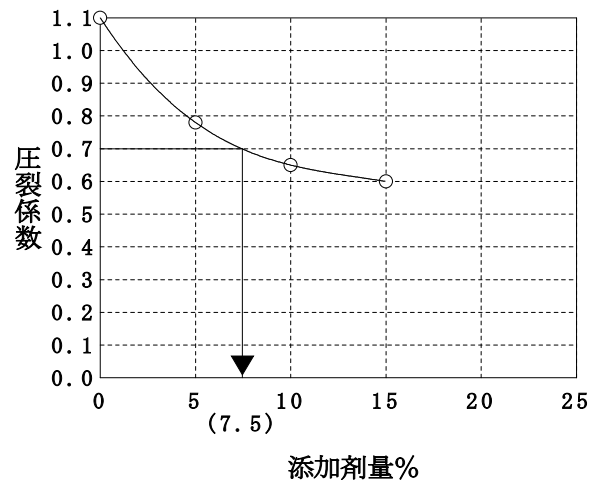
項目	試験値	標準的性状
動粘度 (60℃) mm ² /s	82.1	80~1000
引火点 ℃	268	250以上
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	1.07	2以下
薄膜加熱質量変化率 %	-0.68	±3%以内
密度 (15℃) g/cm ³	0.925	

<添加剤量と圧裂係数の関係>

添加剤量	0.0	5.0	10.0	15.0
圧裂係数	1.10	0.78	0.65	0.60

設計圧裂係数 0.70 (規格値 0.60 ~ 0.80)

設計圧裂係数への調整



<設計圧裂係数への調整結果>

設計添加剤量	7.5
設計添加剤量 (対混合物)	0.27

理論最大密度計算表

目的配合設計
試験年月日 2024年 4月15日
混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)
試験者 田子三由生

骨材の種類	A 骨材のみ	B (旧アスファルト含む)
5号碎石	12.0	12.00
6号碎石	2.0	2.00
7号碎石	2.0	2.00
砕砂	14.0	14.00
再生骨材 13-0	70.0	73.58
計	100.0	103.58
設計針入度 1/10mm		
旧アスファルト量 (外割%)		3.58
再生用添加剤量 (対アスファルト量) %		7.50
再生用添加剤量 (対再生混合物) (外割%)		0.27
再生アスファルト量 (%)	4.5	5.0
再生アスファルト量 (外割%)	4.71	5.26
旧アスファルト量 (外割%)	3.58	3.58
再生用添加剤量 (外割%)	0.27	0.27
新アスファルト量 (外割%)	0.86	1.41

理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生

① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 骨材の密度 (g/cm ³)			④ 計算に用いる密度	⑤ ②/④
		表	乾	かさ 見掛		
5号碎石	12.00	2.687	2.668	2.720	2.720	4.412
6号碎石	2.00	2.674	2.649	2.718	2.718	0.736
7号碎石	2.00	2.654	2.615	2.721	2.721	0.735
砕砂	14.00	2.661	2.627	2.723	2.723	5.141
再生骨材 13-0	73.58				2.511	29.303
RJ-1	0.27				0.925	0.292
Σ②=	103.85				Σ⑤=	40.619

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルトの密度	⑧ ⑥/⑦	⑨ Σ⑤	⑩ ⑧+⑨	⑪ 理論最大密度 (Σ②+⑥)/⑩	
0.86	1.033	0.833	40.619	41.452	2.526	
1.41		1.365	40.619	41.984	2.507	
1.97		1.907	40.619	42.526	2.488	
2.53		2.449	40.619	43.068	2.470	
3.10		3.001	40.619	43.620	2.452	
1.97		1.907	40.619	42.526	2.488	

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生

アスファルトの種類 再生アスファルト アスファルトの密度 (A) 1.040 アスファルトの温度 160 °C 骨材の温度 190 °C
 突固め温度 140 °C 突固め回数 50 回 力計の係数 (B) 0.142

供試体条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	安定フロー値 (kN/m)	
		アスファルト量 %	供試体寸法					空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	密度		アスファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度			フロー値 1/100 cm
			厚さ (cm)									かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)					力計の読み	安定度 (kN)		
			1	2	3	4	平均														
平均									2.354		2.526	10.2	6.8	17.0	60.0	7.52		24	3133		
標準	1	4.5	6.28	6.28	6.28	6.28	6.28	1187.5	684.0	1189.3	505.3	2.350							57	8.09	22
	2		6.42	6.41	6.42	6.42	6.42	1181.7	683.5	1183.7	500.2	2.362							55	7.81	26
	3		6.25	6.24	6.24	6.26	6.25	1198.0	690.4	1200.0	509.6	2.351							47	6.67	24
	平均									2.354		2.526	10.2	6.8	17.0	60.0	7.52		24	3133	
標準	4	5.0	6.34	6.35	6.36	6.34	6.35	1216.7	707.4	1218.2	510.8	2.382							58	8.24	26
	5		6.25	6.25	6.27	6.27	6.26	1202.1	697.7	1203.4	505.7	2.377							65	9.23	27
	6		6.34	6.32	6.32	6.32	6.33	1203.7	697.5	1205.0	507.5	2.372							52	7.38	29
	平均									2.377		2.507	11.4	5.2	16.6	68.7	8.28		27	3067	
標準	7	5.5	6.30	6.30	6.29	6.31	6.30	1214.4	705.9	1215.3	509.4	2.384							59	8.38	33
	8		6.32	6.30	6.30	6.30	6.31	1225.6	714.8	1226.7	511.9	2.394							70	9.94	32
	9		6.29	6.29	6.31	6.31	6.30	1217.2	707.0	1218.2	511.2	2.381							59	8.38	38
	平均									2.386		2.488	12.6	4.1	16.7	75.4	8.90		34	2618	
標準	10	6.0	6.42	6.42	6.41	6.43	6.42	1227.4	715.2	1228.1	512.9	2.393							60	8.52	36
	11		6.35	6.34	6.35	6.35	6.35	1234.6	717.8	1235.2	517.4	2.386							56	7.95	42
	12		6.45	6.44	6.43	6.44	6.44	1233.8	719.1	1234.5	515.4	2.394							67	9.51	40
	平均									2.391		2.470	13.8	3.2	17.0	81.2	8.66		39	2221	
標準	13	6.5	6.43	6.43	6.43	6.42	6.43	1235.9	719.3	1236.2	516.9	2.391							51	7.24	42
	14		6.44	6.44	6.42	6.42	6.43	1220.9	710.5	1221.3	510.8	2.390							55	7.81	47
	15		6.36	6.37	6.35	6.36	6.36	1218.8	707.7	1219.2	511.5	2.383							48	6.82	48
	平均									2.388		2.452	14.9	2.6	17.5	85.1	7.29		46	1585	

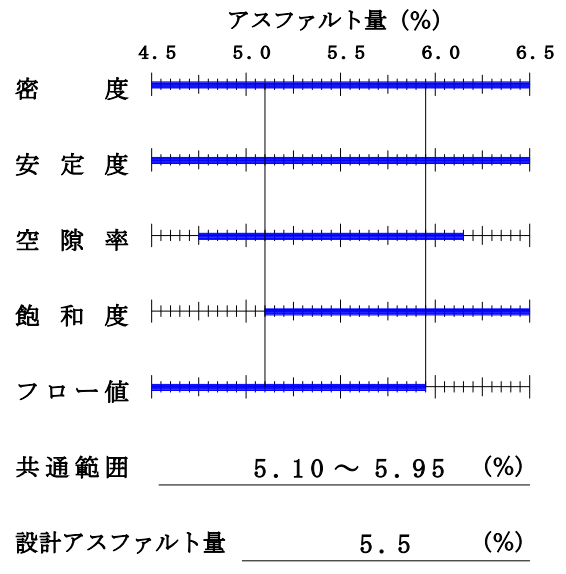
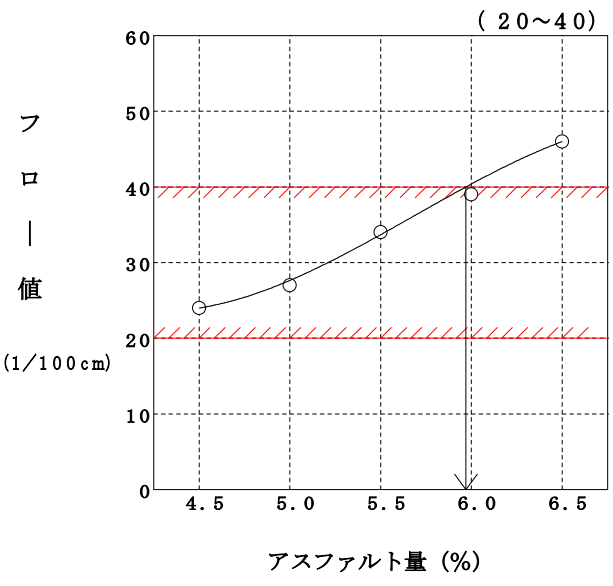
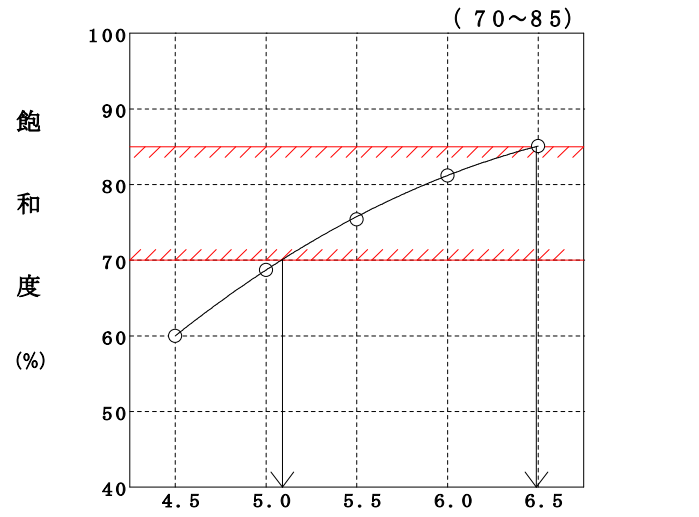
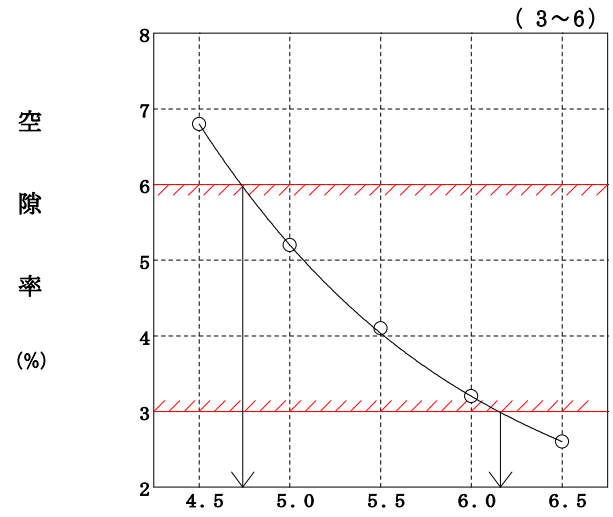
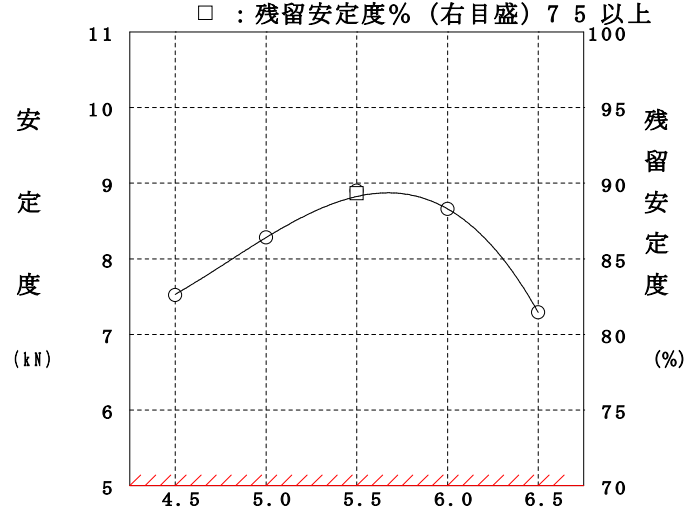
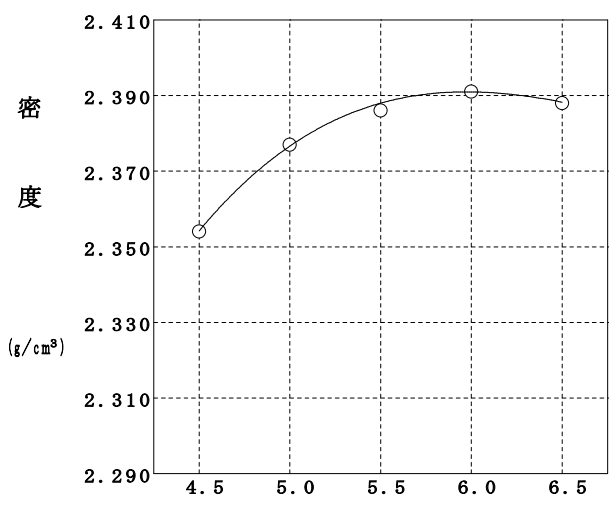
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生



ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

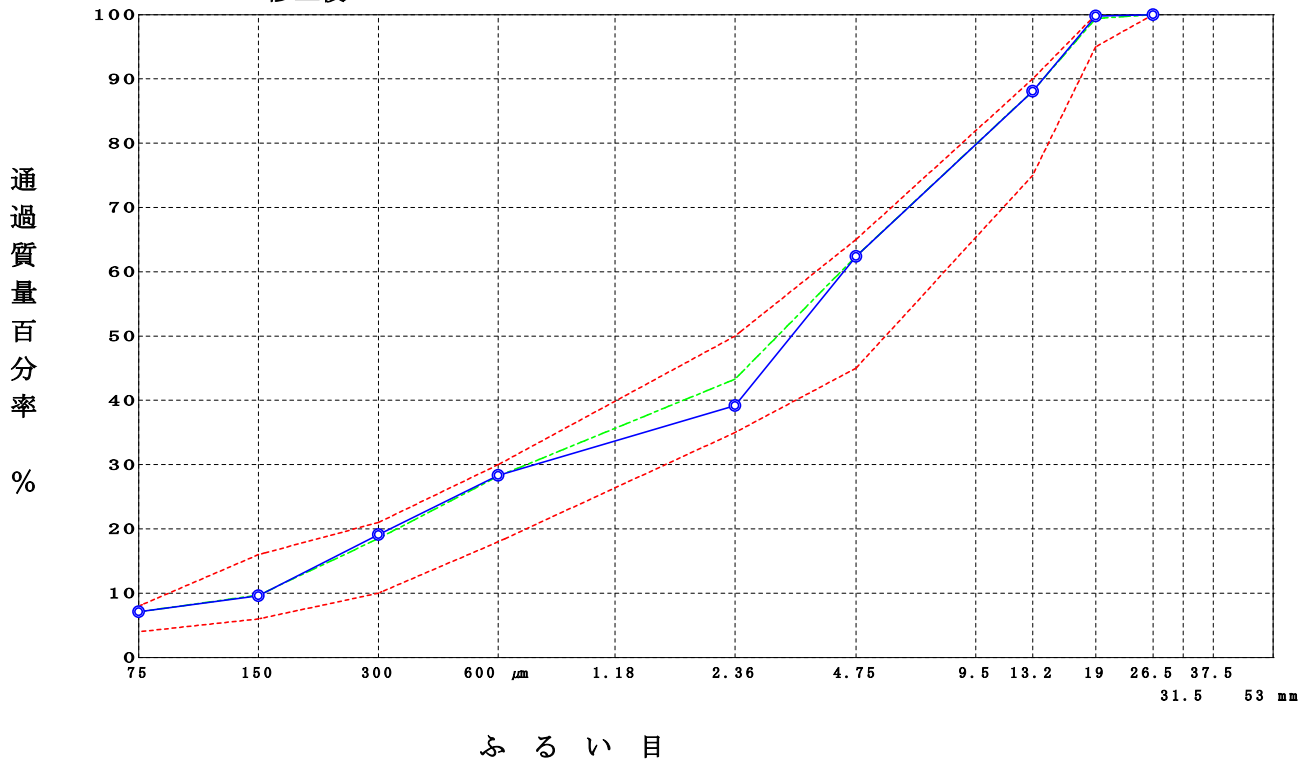
試験者 田子三由生

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5	100.0	100.0	100.0	100
19	99.8	99.8	99.4	95 ~ 100
13.2	87.6	88.1	88.1	75 ~ 90
9.5				
4.75	62.1	62.4	62.4	45 ~ 65
2.36	41.1	39.2	43.3	35 ~ 50
1.18				
600 μm	26.5	28.3	28.2	18 ~ 30
300	19.3	19.1	18.5	10 ~ 21
150	11.4	9.6	9.7	6 ~ 16
75	8.7	7.1	7.1	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図

- - - 粒度範囲
- - - 目標粒度
—●— 修正後



理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生

骨材の種類	A 骨材のみ	B (旧アスファルト含む)
5号砕石	12.0	12.00
6号砕石	2.0	2.00
7号砕石	2.0	2.00
砕砂	14.0	14.00
再生骨材 13-0	70.0	73.58
計	100.0	103.58
設計針入度 1/10mm		
旧アスファルト量 (外割%)		3.58
再生用添加剤量 (対アスファルト量) %		7.50
再生用添加剤量 (対再生混合物) (外割%)		0.27
再生アスファルト量 (%)	5.5	
再生アスファルト量 (外割%)	5.82	
旧アスファルト量 (外割%)	3.58	
再生用添加剤量 (外割%)	0.27	
新アスファルト量 (外割%)	1.97	

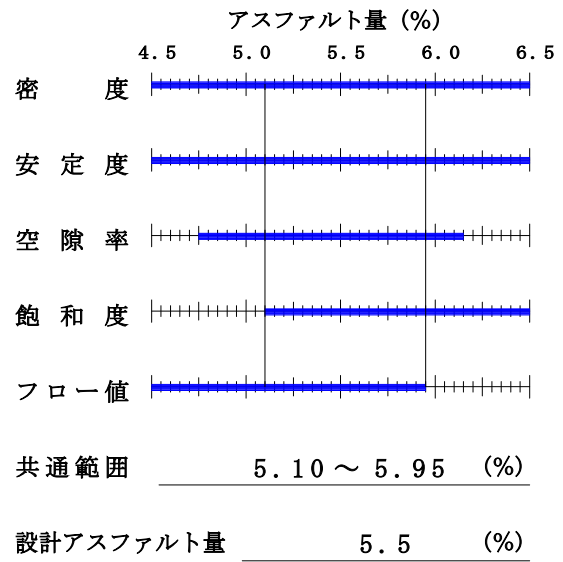
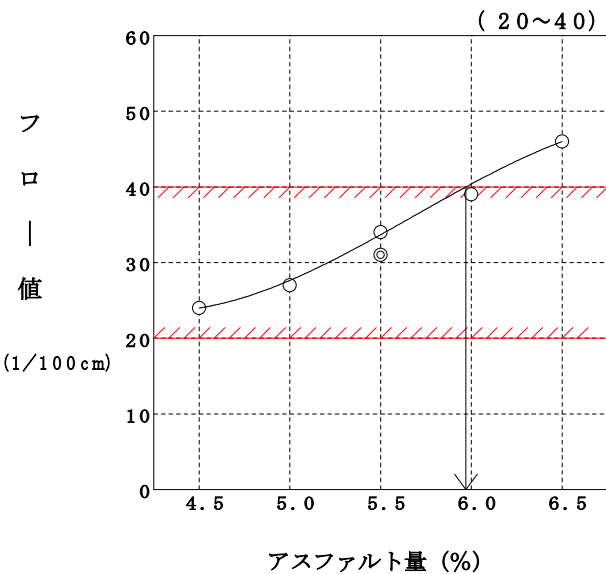
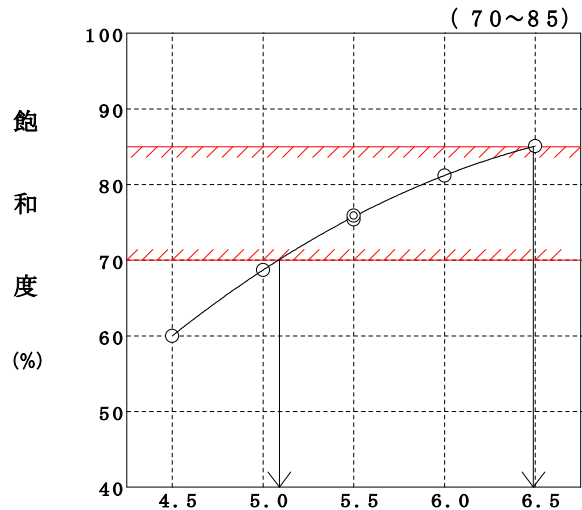
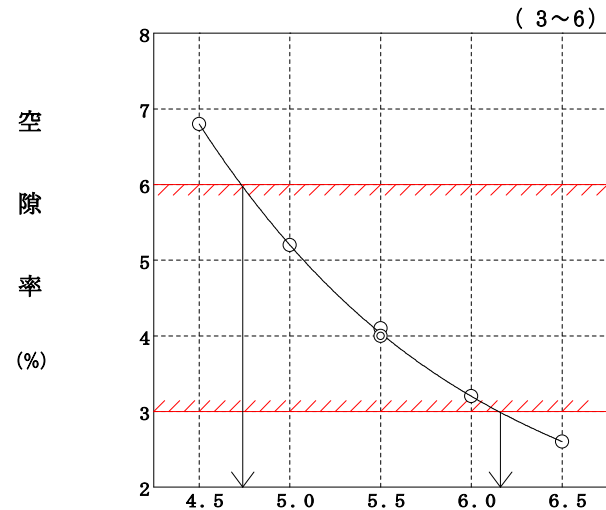
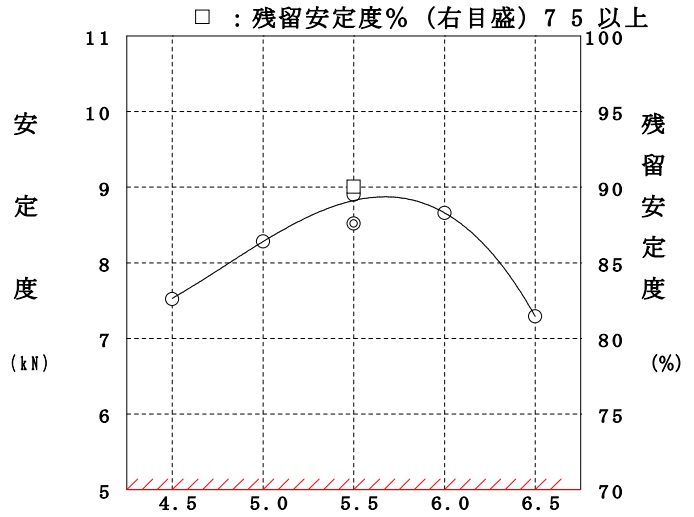
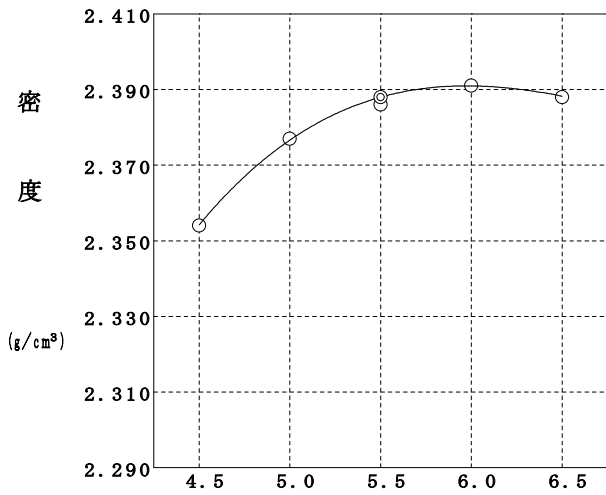
マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2024年 4月15日

混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生



現場配合の決定

目的配合設計
試験年月日 2024年 4月15日
混合物の種類 再生密粒度アスコン (20)
試験者 田子三由生

1バッチ 1000 kg

	骨材配合比(%)	外割配合比(%)	内割配合比(%)	1バッチ質量 (kg)	骨材累加質量 (kg)
4 ビン	11.0	11.00	10.40	104	284
3 ビン	2.0	2.00	1.89	19	180
2 ビン	6.3	6.30	5.95	60	161
1 ビン	10.7	10.70	10.11	101	101
再生骨材	70.0	73.58	69.53	698	698
旧アスファルト		(3.58)	(3.38)		
再生用添加剤		0.27	0.26		
新アスファルト		1.97	1.86	18.6	18.6
合計	100.0	105.82	100.00	1000.6	1000.6

※添加剤は再生ドライヤ内添加のため
再生材の計量値に含まれます。

- (1) 混合温度・・・・・・・・混合温度は185℃を超えない範囲でアスファルトの動粘度
160～200 cSt (セイボルトフロー秒75-95)
のときの温度範囲から選び 160 °Cとする。
- (2) 再生骨材加熱温度・・・・・・・・加熱温度による旧アスファルトの劣化を防ぐ目的に
より 140 °Cとする。
- (3) 骨材加熱温度・・・・・・・・混合温度より 40 °C高くして 200 °Cとする。
- (4) アスファルト加熱温度・・・・・・・・混合温度と同じ 160 °Cとする。
- (5) 初期転圧温度・・・・・・・・転圧温度は再生アスファルトの性状により 140 ± 15 °Cとする。